

飯樋小学校「校舎改築落成記念式典」

新校舎の誕生を祝う



式典のようす



菅野村長から手渡された感謝状

12月10日、飯樋小学校で「校舎改築落成記念式典」が行われ、新校舎の誕生を祝いました。

これは、平成14年度から改築工事を進めてきた飯樋小の南・北・西校舎が10月に完成したことから行われたもので、式典には児童や教職員、関係者ら250人が出席しました。

式典では、はじめに今回の改築工事に当たり協力をいただいた方々へ、菅野村長から感謝状が贈られたのに続き、菅野村長、関博長相双教育事務所長、横山村議会議長から祝辞が述べられました。

最後に、児童代表の高橋里沙さん（上飯樋）が、「楽しい学校を建てていただきありがとうございます。これからも全校生徒で大切に使っていきます」とお礼の言葉を述べました。



「クオリティライフ」から「までいライフ」へ

平成7年からスタートした村の第4次総合振興計画「クオリティライフ」は、平成16年度をもって終了です。

私は、平成9年度からこの計画を引き継ぎ、計画実現のため努力してきました。

この計画の目標の一つである地区別計画は、各行政区の皆さんの絶大なご理解とご協力によって、他市町村からも注目される「自主・自立の地域づくり」として進められてきました。

この地区別計画は、何度新聞などで報道されたか分かりませんが、進めてきていただいた各行政区の方々には大変な苦労があったのでありますが、それだけ先進的な取り組みであったということです。

もう一つ、第4次総合振興計画の特徴的事業に「クオリティライフ顕彰事業」があります。「クオリティライフってどんな

生活？」という村民からの疑問がスタート時からありました。暮らし方は百人百様ですからこれがモデルというのはありませんが、「例えばこんな暮らし方」ということでスタートさせていただいた事業です。

これまで5回、21組が表彰され副賞が贈られたわけですが、その副賞は全員異なっている点で、この賞の特徴でもあります。CDプレイヤーあり、メットラあり、旅行券あり、百科事典あり、堆肥ありでした。

人それぞれ、より充実した暮らし方は皆違っているはずですし、そうあらねばおかしいはず。田舎での豊かさは、提供されるものではなく、自分で発見し自分でこころ築いていくものです。

ですから、常に感性やセンスを磨き、他人のまねをしなくとも自分で生きがいを作れるように、生活を創造していく力を持つていないと、田舎での生活は楽しくありません。

今年から「クオリティライフ」から「までいライフ」にかわりますが、さらに一歩進めた暮らし方を求めていく運動です。

今後、一人ひとりが飯館村での暮らし方を創意工夫していく努力をしていきたいものです。

平成16年12月22日

飯館村長 菅野 典雄